

防災安全対策特別委員会 令和4年9月21日
総務部 資料4番
所管 防災危機管理課

令和4年度大田区総合防災訓練（震災編）の実施について

令和4年度の総合防災訓練（震災編）については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から、昨年度に実施し好評であった web 会議システム（Zoom）を利用したリモート型による防災アトラクションを実施する。

1 リモート型防災アトラクションの概要

- (1) 委託業者が Zoom によりイベントを配信し、震災に関するドラマ映像や謎解き問題を出題する。参加者は、震災時に取るべき行動や日頃からの備え等について出題されたテーマに答えていく。震災対策等の防災について、体験しながら関心をもってもらえる内容となっている。
- (2) 防災アトラクションの主な構成内容（予定）
別紙のとおり
- (3) 大田区では2回目の実施となることから、初めて参加される方も2回目の参加となる方も楽しく学べる構成となるよう委託業者と調整していく。

2 日時等

- (1) 実施日
令和4年11月27日（日）
- (2) 実施時間
10時00分～11時30分、13時00分～14時30分、15時00分～16時30分の計3回実施

3 対象・募集

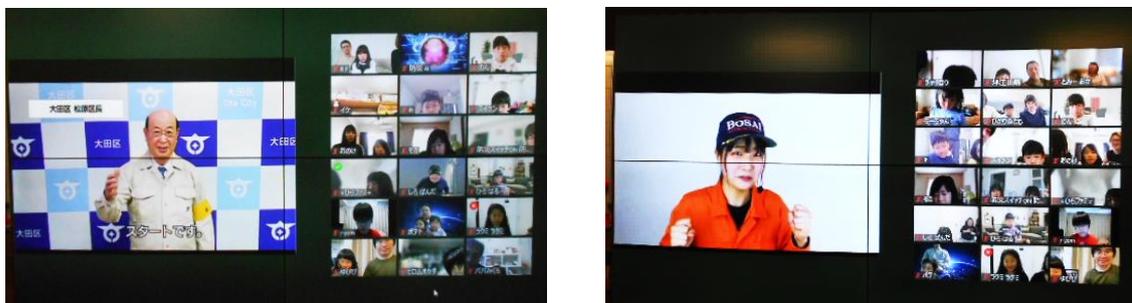
- (1) 対象：全区民とする。
- (2) 区ホームページにリンク設定した予約サイト（委託業者管理）にて募集する。
- (3) 募集数：450組（1回150組×3回）
- (4) 募集期間：令和4年11月1日から同11月24日まで（定員に達し次第締め切り）

4 周知方法

- (1) 区報（11月1日号）、ホームページ、防災ポータル、ツイッターで周知する。
- (2) 特別出張所等各区施設にチラシを置き、広報するほか、区立小学校の全生徒にチラシを配布し、参加への呼びかけを行う。

リモート型防災アトラクションの構成イメージ

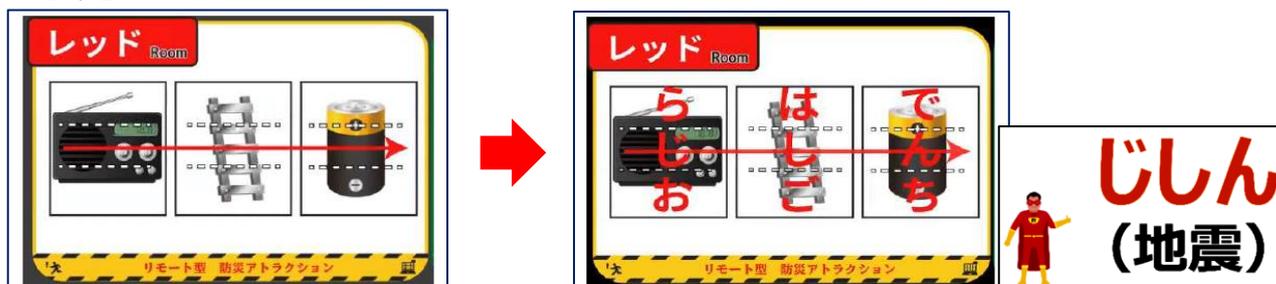
① 区長挨拶や進行役からの参加方法についてのレクチャー



② 火災発生を想定し、消火器による初期消火方法について出題



③ 謎解きミッション



震災時に必要になる絵をもとに謎解きを提示する。

(例) 答え：地震
避難先など“地震”をテーマにした解説を行う。

④ 感染対策を踏まえた対応や大田区からのご案内を解説

【「避難場所」と「避難所」の違い】

「避難場所」

- ・地震により大規模な火災が発生した場合、火災が収まるまで一時的に避難する場所
- ・大きな公園や河川敷などが指定されています。

「避難所」

- ・地震により家屋が倒壊したり焼失したりして、住む家を手放した人が一定の期間、避難生活を送る場所
- ・小中学校などが指定されています。

【避難する際の注意点】

ひなんじょ

避難所

with コロナ

【公助の現実】 首都直下地震の被害想定 (大田区)

- ◆火災による焼損棟数 **32,218棟**
- ◆大田区内消防ポンプ自動車数 **30台**
- ◆負傷者数 **10,412人**
- ◆大田区内の救急車台数 **14台**

(例) アプリの紹介や感染対策を備えた避難対策を解説